

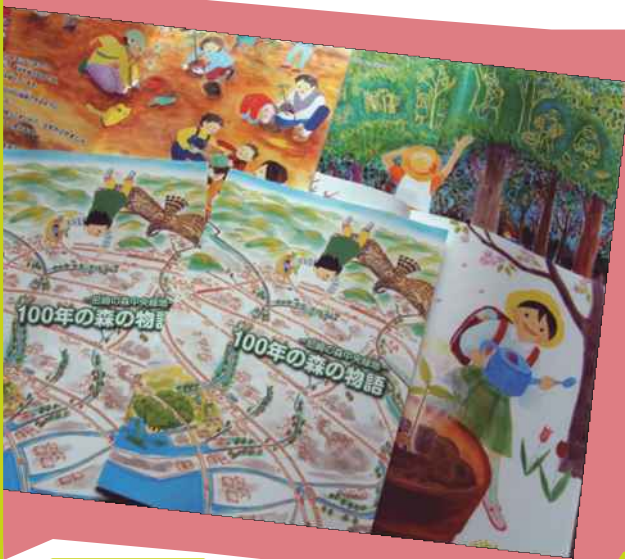
BOOK! BOOK! BOOK!

今、尼崎市の臨海部で『尼崎21世紀の森づくり』が進んでいます。100年先を見据えた森づくりです。

尼崎といえば、『尼崎公害訴訟』『工業地帯』などのイメージが強く、「環境が悪い」と思われがちですが、この『尼崎21世紀の森づくり』をはじめとする環境に対する多彩な取組みを、**市民と企業と行政が連携して**展開しています。平成25年には、**全国で23都市しかない国の『環境モデル都市』(※)にも選定**されました。

※『環境モデル都市』とは・・・“温室効果ガスの大幅な削減など低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市”のこと。

『尼崎21世紀の森づくり』の拠点となるのが『**尼崎の森中央緑地**』。そこに2006年から苗木を植え始めました。今では、6～7mまで生長し、小さな林になっています。少しずつ、少しずつ、100年かけて。これまで工業地帯として栄えた広大な土地を、緑あふれる土地として蘇らせます。**その森づくりを、子どもたちに知ってほしい**・・・そんな思いがこもった絵本を紹介します。



100年後・・・どうなっていると思いますか？
どうなっていたら、いいなあと思いますか？

『一尼崎の森中央緑地—100年の森の物語』 文/守宏美 絵/阿部紀子

尼崎市に住む小学校1年生の「みどりちゃん」。みどりちゃんが、おとなになって、おかあさんになって、おばあちゃんになっていく人生と、苗木が森へと生長していく姿を重ね合わせた物語です。四季折々の森の変化や、森の虫や野鳥などの生き物、森での楽しみなども織り交ぜて描かれています。こんな未来になったらいいなあ、読みながら思いました。

絵本を発行した
『兵庫県阪神南県民センター
尼崎港管理事務所 尼崎21世紀プロジェクト推進室』の
山口さんと木下さんにお話をうかがいました！



子どもたちが自分の未来と重ね合わせながら、森の生長を想像できる内容になっています。100年かけての森づくりですから、**親から子へ、その孫へと、受け継いでいく**イメージも伝えています。

絵本のなかで、みどりちゃんが苗木を育てたり、『尼崎の森中央緑地』で苗木を植えたり・・・という場面があります。実際に、みなさんも苗木の**里親**になったり、**植樹**したりして、**100年の森づくりに参加**することができますよ！

一度、お子さんと一緒に『尼崎の森中央緑地』に遊びに来てください。子どもの頃に遊んだ思い出はココロに残ります。ここで遊んだ**子どもたちが大人になった時**、「あそこは、どうなっているんだろう？」と想いを馳せて、また訪れてくれたらいいなあ。その時には、今よりも、もっと緑であふれていると思います。

絵本を読みたい方はコチラへ (無料配布しています)

- 尼崎の森中央緑地パークセンター 扇町33-4 電話06-6412-1900
- 兵庫県阪神南県民センター尼崎港管理事務所 尼崎21世紀プロジェクト推進室 東難波町5-21-8 電話06-6105-4435
- 以下URLよりWEB上で閲覧できます(兵庫県HP)
<http://web.pref.hyogo.lg.jp/hsk07/21mori/documents/100nennnomori.html>



未就学児の
親子対象イベント
『森の子育てひろば』

昨年開催された
『森の子育てひろば』
の様子



尼崎の森中央緑地では多彩なイベントを開催中！
『**尼崎21世紀の森ウェブマガジン**』をご覧ください。

<http://ama21mag.jp/>

(取材/小森)